



快適で住みよい、活力を生み出す 創造都市

瑞穂市

市勢
要覧



瑞穂市

contents

- 1 瑞穂市民憲章／非核・平和都市宣言／瑞穂市民の歌
- 2 市民が主役!まちづくり
- 3・4 スポーツ・文化／祭
- 5・6 健康／福祉
- 7・8 学校教育／生涯学習
- 9・10 安心・安全
- 11・12 自然・環境
- 13・14 産業／特産品
- 15・16 名所・史跡／文化財
- 17・18 主要公共施設&まち案内マップ
- 19・20 瑞穂市歴史年表
- 21 市長のご挨拶
- 22 位置・地勢／市章・市の木・市の花・市のマスコットキャラクター

瑞穂市民憲章

市民が主体の住みよいまちづくりを進めるために

わたしたちは 揖斐 長良の清流とともに生き
長い歴史と文化に誇りを持ち 自由で住みよいまちづくりに
力を合わせていくことを ここに誓います

- ① 豊かな水と緑あふれる
美しいまちをつくります
- ① 健康で心がかよう
明るいまちをつくります
- ① 文化が香りスポーツに親しむ
さわやかなまちをつくります
- ① 助けあい支えあう
優しいまちをつくります
- ① 夢をはぐくみ希望に満ちた
幸せなまちをつくります

平成20年9月5日制定

非核・平和都市宣言

市民の安全・安心な暮らしを守り、
世界恒久平和の実現に寄与することを宣言します。

世界恒久平和は、人類共通の願いです
しかしながら、現に核兵器が存在し、人類の生存
に大きな脅威を与えています

私たち瑞穂市民は、被爆後65年にあたる今年、
改めて平和への声をあげ、日本国憲法の理念に基
づきすべての核兵器の廃絶と軍備の縮小を全世
界に訴えるとともに、「持たず、作らず、持ち込ませ
ず」の非核三原則を遵守することを希求し、市民の
平和と幸福を願い、ここに「非核・平和都市」を宣言
します

平成22年11月30日制定

瑞穂市民の歌『宇宙へ』

作詞／上嶋 昭子 補作／後藤 左右吉 作曲／大沼 智幸

- 一 流れ豊かな わが市は
人の輪つなぐ 桜みち
心を通わせ いきいきと
弾む心に 力湧く
助け合い 支え合い
築こう現在を ああ
ふるさと 瑞穂
- 二 歴史広がる わが市は
文化の香り 満ちている
幸せかみしめ 誇らしく
祖先の愛を 語りつぐ
助け合い 支え合い
学ぼう過去に ああ
ふるさと 瑞穂
- 三 未来奏でる わが市は
あじさい映える 夢のまち
心も体も 健やかに
ひとみ輝き 羽ばたいて
助け合い 支え合い
伸びよう宇宙へ ああ
ふるさと 瑞穂

市民が主役！ まちづくり

より良いまちをつくるため、
市民の皆さん一人ひとりが
市民参画による協働のまちづくりができる
「基本ルール」を定めました。

「瑞穂市まちづくり基本条例」

平成24年4月1日施行



みんなで知恵を出しあって、力をあわせて安心・快適な暮らしを実現していくこと、
それが瑞穂市のまちづくりです。

スポーツ・文化

市民の皆さん一人ひとりが笑顔を咲かせるまち。



1 校区活動委員会

校区ごとに、地域独自の取組を企画し、実践。まちづくりにも参画しています。



2 ネオクラシックコンサート

クラシック音楽に親しんでいただくために、岐阜県交響楽団等によるコンサートを開催しています。



文化協会

各種コンサートや作品展示、書初め大会など、多彩な文化イベントを企画・開催しています。



体育協会

駅伝や綱引き大会等、市民参加型の行事を企画。スポーツ教室も行っています。



みずほ演劇祭

若手からベテランまで、様々な劇団が集結し多彩なパフォーマンスを繰り広げます。



国際交流

アメリカのオレゴン州からホームステイを受け入れる等、国際交流活動を行っています。



優れた音楽や芸術は、私たちの暮らしに潤いとゆとりをもたらします。また、趣味や仲間の存在は、私たちの人生に大きな刺激と感動を与えてくれます。

瑞穂市は、総合センターや市民センター等のコミュニティ施設での様々なイベントを通して、市民の皆さん一人ひとりがイキイキと暮らせるまちづくりを目指しています。

祭

今と昔を確かにつなぐ、伝統のお祭り。



美江寺観音のお蚕祭り

市指定民俗文化財

古くから伝わる五穀豊穡の祈願祭。狸々の柄杓による吉凶占い目当てに養蚕家が多数訪れたことから、お蚕祭りと呼ばれるようになりました。

日時・期間 例年3月第1日曜日
場所 美江寺観音境内周辺



和宮の例祭

皇女和宮が14代將軍徳川家茂に嫁ぐ折、呂久の渡しで渡船されたことに由来するお祭りです。

日時・期間 春 4月最終日曜日
秋10月26日
場所 おずこうえん 小簾紅園



美江寺宿場まつり

美江寺宿は「岐阜の宝もの」として県から認定されている「中山道ぎふ十七宿」の一つ。毎年5月に開催される宿場にちなんだイベントです。

日時・期間 例年5月第3日曜日
場所 美江神社周辺



汽車まつり

JR穂積駅の開設を記念し、D51を模した山車の展示やバザー等、穂積庁舎周辺で繰り広げられる夏のイベントです。

日時・期間 例年8月第3土・日曜日
場所 穂積庁舎周辺



みずほふれあいフェスタ

富有柿の皮むき大会やステージライブ、瑞穂市の特産品の販売等、楽しい秋の祭典です。

日時・期間 例年11月第1日曜日
場所 サッポー サンコーパレットパーク (中山道大月多目的広場)



五街道(江戸時代のメインストリート)の一つ、中山道の宿場町として栄えた美江寺(瑞穂市)は、古来より東西の人や技術が行き来する文化の交流地でした。

現在も、その歴史は色濃く残り、様々な祭りとなって受け継がれています。

健康

健やかな心と体を育む環境づくりを目指します。



環境整備 親子がのびのびと暮らし、心豊かに成長できるような環境づくりを進めています。



乳幼児健康診査
お子さんの健やかな成長を確認するとともに、子育てに関する相談・助言を行っています。



健康づくりのための運動教室
(代謝アップ・ロコモ)
教室では「できる・わかる・楽しい」を大切にしています。「活動量」や「脈拍数」など一人ひとりのデータを活用し、生活習慣病予防に効果的な運動を提案しています。



ババママくらぶ
安心で楽しい出産＆子育てを学ぶ考えるためのメニューとして、模擬体験や実技を実施しています。



離乳食教室
お子さんの成長に合わせた離乳食の進め方の話とともに、実際に試食をして固さや味付け等を確認しています。



瑞穂ファミリーハイキング
家族のふれあいを通じてハイキングの楽しさを知ってもらおうと、毎年開催地を変えて実施しています。

福祉

快適な毎日は、小さな不安や不便を取り除くことから始まります。



1 自治会長・民生委員・福祉協力員による研修会
住民主体の福祉のまちづくりに力を入れています。

2 災害時障がい者支援用バンダナの配布
災害時に障がい者が取り残されないようにするためのバンダナです。避難する時や避難所生活など、地域でお互い支え合います。



放課後児童クラブ
仕事などで帰りが遅くなる保護者のために、放課後、お子さんを安全にお預かりしています。



障がい者支援（優先調達）
障がい者に「働く機会」をつくり、その施設の物品を市が優先的に調達することで、自立をお手伝いしています。



地域子育て支援センター
育児相談やセミナーを通して、就園前の子育てを保育士や保健師・栄養士がサポートします。

生涯のうち心身ともに健康で暮らせる期間のことを健康寿命と呼びますが、この健康寿命を支えるためには「人とのつながり」が重要といわれています。

身体の調子を見るだけでなく、環境を含めた心の調子も一緒に整えていく。そのための健(検)診や教室・イベント活動に瑞穂市は取り組んでいます。

清流に囲まれた瑞穂市は、幾度となく水害に見舞われ、そのたびに助け合いながらまちを育ててきました。現在もその心は市民に根付き、一つひとつの形となってお互いの暮らしを支えています。

学校教育

質の高い教育を推進し、学力の定着を図ります。



授業

児童・生徒が主体的に学ぶ授業を推進し、学力の定着を図ります。



英語教育

市内の小中学校では、児童生徒がALT（外国語指導助手）を相手に英語を聞いたり話したりして、生の英語に触れる機会を増やしています。

ICT教育（情報教育）

自分の考えを説明し、仲間の考えを共有するためにタブレット等を効果的に活用しています。



みずほ未来プロジェクト

市内中学生の希望者が、瑞穂市の魅力や課題について調べ、未来について考え、話し合っています。そして、より良い主権者となる基礎を培うとともに、ふるさと“みずほ”への愛着心を育みます。



ALT（外国語指導助手）の配置やICT教育（情報教育）の充実など、子どもたちの学習環境の整備を進めながら、教育の質の向上を目指しています。

令和元年度から、全ての小中学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校と地域・保護者が一体になって子どもたちを育てる「地域とともにある学校づくり」を推進しています。

生涯学習

生涯学び続けたいかたの気持ちにお応えしていきます。



瑞穂総合クラブ

文化・スポーツ合わせて約30講座を開講。土曜日に市内の小中学生が活動するクラブです。



瑞穂大学（成人教育講座）

健幸学部・脳力活性学部（概ね50～60歳以上）を設け、学部ごとに月1～2回様々なテーマの講義を行っています。



おはなしの会

図書館では未就園児や幼児～小学校低学年向けに絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行っています。



新しい発見や出会いにときめき、刺激を受けることは、人生においてとても大切です。年齢や性別を越えたお付き合いはもちろんのこと、同じ年代や趣味のかたが集まって語り合い、高め合うことも大事です。

瑞穂市では、小学生から高齢者まで、それぞれの体力や趣味嗜好に合った学びを選択できるように、多種多様な機会を提供しています。



水防訓練

水防思想の普及や市民の生命・財産を守り水害を軽減するため、毎年行われています。



犀川遊水地事業

犀川流域の内水被害軽減を目的として、犀川遊水地と排水機場を整備しています。

日常の防災・防犯から、大規模自然災害対策まで、安心・安全対策は多岐にわたります。

瑞穂市では、治水事業や公共施設等の整備を進めるのはもちろんのこと、災害時の組織づくり、人づくりにも力を入れています。また、日常の安心・安全については、多くの市民ボランティアの皆さんにご協力いただきながら、自助・共助・公助のより良い形を目指しています。



瑞穂市消防操法大会

消防団は、日頃から技術を磨き、万が一の時に備えています。



防災訓練

シェイクアウト訓練を始め、災害に対する備えを万全にするためのさまざまな訓練を行っています。



青色防犯パトロール

子どもたちの犯罪被害や交通事故の防止を目指し、警察署や地域安全指導員、朝日大学の防犯ボランティア「めぐる」らと連携し、夏休みや春休み前等、年間を通してパトロールをしています。



民生委員・児童委員

高齢者や障がい者、子育て世代、生活困窮者などの支援に取り組んでいます。また、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育てなどの心配ごとの相談や支援を行っています。



少年少女消防クラブ

子どもたちの防火、防災思想の普及・啓発を図るために活動しています。

防犯カメラ設置

犯罪の防止や安心・安全のため、教育施設などに防犯カメラを設置しています。





河川清掃活動

故郷の水辺を美しく保つため、地元業者や市民ボランティアらが参加し、土手の草刈、泥の除去、川底の粗大ごみ拾い等の清掃活動を行っています。



長護寺川・犀川

野鳥たちがのどかに暮らし、春は桜が咲き誇る長護寺川・犀川は、清流・長良川の支流です。



川のせせらぎ、野鳥のさえずり、四季折々を彩る花々。美しい自然に恵まれたこのまちを次の世代に残せるように、市民の皆さんとともに環境整備を進めています。
平成15年に条例で基本ルールを定め、全市一体となって取り組んでいます。

瑞穂市は自然の見どころがいっぱいです。



五六川のユキヤナギ

4月頃、雪が降ったようにこんもりと、堤防沿い約400mを白い小花が埋め尽くします。



中川のレンギョウ

早春の中川を黄色に染めるレンギョウの花は、稲里・祖父江・穂積が見どころです。



中川のサクラ

春の日差しにキラキラと水面が揺れる中川を薄紅色に染めるのは、約1kmの桜並木です。



糸貫川のアジサイ

地域の方が手植えた、約1.5kmのアジサイロードは散歩道の名所です。



西蓮寺の藤九郎ギンナン

樹齢約150年、市内最大級の藤九郎ギンナンの木(県天然記念物)は西蓮寺にあります。



ハナミズキ

ハナミズキの街路樹が白やピンクに変わるのは4月下旬頃。秋には紅葉も美しいと評判です。



ハリヨ

水温が20度以下の湧水などのきれいな水にしか生息しない貴重な魚です。



環境美化

各地区でボランティアによる美化活動が行われています。



リサイクル運動

空き容器回収機のほか各地区のごみステーションで資源物が回収されています。

産業

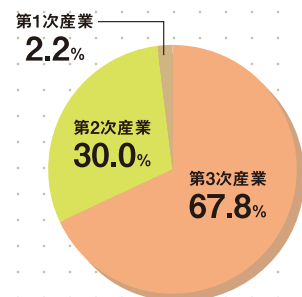
果実の生産

甘柿の王様として全国的に有名な「富有柿」をはじめ、「幸水」「豊水」等の梨、「美濃娘」等のイチゴづくりが盛んです。



稲作

清流に囲まれた瑞穂市は、古来より稲作の盛んな地域で、「ハツシモ」を中心に栽培しています。



産業別就業人口の割合
(R2年国勢調査より)

県内で平均年齢が最も若く、人口も増加を続けていることを背景として第三次産業に従事する方が増えています。農地では水田を中心に担い手への集積・集約化が進んでいます。

JR穂積駅、国道21号、名神高速道路安ハスマートIC、東海環状自動車道大野神戸IC等、地の利を活かした産業育成に取り組んでいます。

人や社会に愛されながらまちも成長するビジネスへ。



工業

製造業を営む中小規模の事務所が多い地域です。経営の合理化と設備の近代化を進め、モノづくりの活性化を目指します。



幹線道路沿いの商業施設

国道21号や県道北方多度線沿いは、大規模商業施設も増えて、新たな賑わいを見せています。

特産品

長良川や揖斐川をはじめ、市内には18本もの一級河川が流れています。その清流が野菜や果物、花き類をすくすくと育てています。



富有柿

甘みが強く柔らかで、みずみずしい大粒の「富有柿」は、瑞穂市発祥の果実です。明治時代、大野郡居倉村(現・瑞穂市居倉)の福嶋才治氏が改良を重ね、「富有」と名付けました。



イチゴ

明るい赤でツヤがある岐阜県オリジナル品種の「美濃娘」。甘みと酸味のバランスがとても良く、美味です。生で食べるだけでなく、ケーキ等との相性も抜群です。



マンゴー

清流長良川の恵みをうけて育ったマンゴーは、糖度が高く栄養豊富です。



梨

「幸水」「豊水」といった品種です。市内北西部を中心に栽培されています。



鮎

清流長良川と揖斐川に挟まれた、瑞穂市の冷たく豊かな地下水で育てた鮎です。加工品もさまざまなものが生産されています。



ハツシモ

「初霜(ハツシモ)」の名のとおり、早朝に露霜が降り始める10月下旬ごろから収穫が始まる晩生品種です。県内ではもっとも多く作付される品種ですが、他の県ではほとんど生産されていないことから、幻の米とも評されています。



花

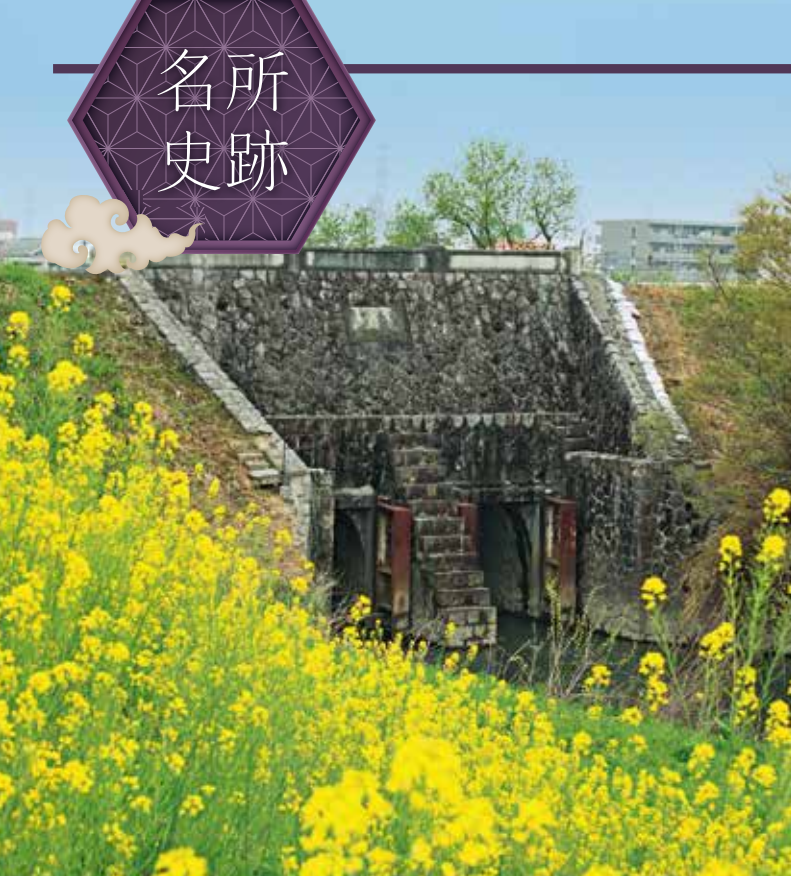
花きの鉢ものやバラの切花、苗の栽培等、瑞穂市は県内屈指の花き産地です。



サボテン

数千種あると言われるサボテンの中で、特に人気の高いミニサボテンを育てています。市内には、栽培面積世界一のサボテン農場があります。

名所史跡



うし き こうもん
牛牧閘門

1749年、長良川の逆流を防ぐため五六川に設けた水門(樋門)。現存の閘門は、伝統的技法「たたき」を用いた珍しい人造石工法(1907年造)です。



い く らがわのみやあと
伊久良河宮跡 市指定史跡

天照大神が伊勢に鎮座する前、倭姫命(やまとひめのみこと)が最適地を探して全国を遷った折、一度祀られた地(元伊勢)とされています。



先人たちが流した汗と涙を胸に刻んで、歩み続けます。



かわさきへい え もん
川崎平右衛門の供養塔 市指定史跡

五六川の洪水から村々を守るため、牛牧閘門を造った美濃国の本田代官。武蔵野新田を開発し、石見銀山を立て直した人物でもあります。



お ず こうえん
小簾紅園 市指定史跡

「おちていく 身と知りながら もみじ葉の人なつかしく こがれこそすれ」皇女和宮が公武合体によるご降嫁のため、中山道・呂久川(揖斐川)を下った折に詠んだ歌が残されています。紅葉の名所です。



なかせん どう み え じ じゅくあと
中山道美江寺宿跡 市指定史跡

中山道55番目の宿場町。規模は小さく脇本陣もありますが、豊臣秀吉の時代には問屋場が設けられる等栄えていたそうです。

文化財



じゅういちめんかん ぜ おん ぼ さつりゅうぞう
十一面観世音菩薩立像 (別府観音)
県指定重要文化財

平安時代の藤原様式の影響を受けた檜の一木造りで、豊然上人作と言われています。身丈5尺8寸(約174cm)。秘仏ですが、毎月18日と千日参り等で開帳されます。



もく ぞうしゃ か によらいりゅうぞう
木造釈迦如来立像
県指定有形文化財

京都・清凉寺のご本尊を模した「清凉寺式釈迦如来像」。巻紐状に刻んだ頭髪と両肩を覆った通肩の法衣が特徴です。本像(れんげ座像)は38cm。平成14年の修理で、文応元年(1260年)の「覚円仏師」の作であることが判明しました。

せいかんのんりゅうぞう
聖観音立像

市指定有形文化財

豊かな頬と秀でた眉、きりっと引き締まった目鼻立ちが特徴的な聖観音は、行基作と伝えられています。木造寄木造、蓮華座上の立像で、像高50cmです。



せいかん ぜ おん ぼ さつぞう
聖観世音菩薩像

市指定有形文化財

身の丈8寸(24.2cm)、優しい表情の坐像で、室町時代に造られたもの。近江源氏の流れをくむ須田源三経秀がこの地に一院を建立し、安置したと伝えられています。



古より受け継がれてきたこの土地の財を次代へ。



せんたいぶつ
千駄仏 市指定有形文化財

行く先々の寺に泊まって旅をする遊行僧であった自然居士が、美江寺の地で造立した千駄仏です。



べつぶ ざいく
別府細工 市指定有形文化財

今からおよそ200年前に別府において製作された蠟型鋳物。蜜蠟と松脂を合わせた蠟で原型を作るため柔らかな質感が特徴です。



とう じ いぬ
陶磁のこま犬 市指定有形文化財

古くから美江神社の前殿入口に安置されていたもので、18世紀後半の瀬戸窯業の成形、釉薬技術を知るうえで貴重な資料。高さが50cmもあり、陶磁製としては大きな作品です。

緑豊かな自然環境に、昔ながらの人のぬくもりと先進的な公共施設が共存するエリアです。

のどかな景色と歴史的情緒を残しつつ、新しい発想で便利さや安心・安全を高めていくこと。それが、これからの瑞穂市の姿です。

主要公共施設 まち案内マップ

歴史と文化の香るまち。
便利さを備えた瑞穂市です。

施設紹介



1 県南庁舎
環境、上下水道、都市開発や商工農政、観光、教育については、県南庁舎にお越しください。



2 西部複合センター
1階には保健センター、2階には児童書を中心に蔵書6万8千冊の図書館の分館があります。



3 牛牧北部防災コミュニティセンター
消防の屋内訓練や防災備蓄が可能な施設です。



4 牛牧南部コミュニティセンター つどいの泉
集会場など地域交流を深めるための施設です。



5 給食センター
衛生管理のしやすいドライシステム。一日最大7000食調理できます。



6 美来の森
粗大ごみ等を市民から受け入れています。



7 瑞穂消防署
16 県南分署
市民の生命財産を守る拠点です。



8 市図書館
多彩に揃えた蔵書20万冊の図書館です。



9 市民センター
スポーツと文化の両面を備えた複合施設です。体育館や会議室、市民サロン等があります。



10 障害者生活訓練場 ふれあいホームみずほ
家事等の日常生活を訓練し、障がい者の自立を助けます。



11 本田コミュニティセンター
乳幼児から高齢者まで、地域交流を深めるための施設です。



12 生津スポーツ広場
市内最大のグラウンド。サッカーや野球、テニス等が楽しめます。



13 弓道場
6人立て28mの矢道を持つ、ナイター照明付きの弓道場です。



14 ココロかきなるCCNセンター（総合センター）
文化、福祉、保健、生涯学習等の拠点。座席1019席の大ホールと多目的ホールがあります。



15 穂積庁舎（瑞穂市役所本庁舎）
戸籍や税務、医療保険、福祉、防災、会計、議会等については、穂積庁舎にお越しください。



20 サンコーバレットパーク（中山道大月多目的広場）
かきりんのアスレチック遊具、大型のドームシェルター、11,000㎡の芝生広場を備えています。

まち案内

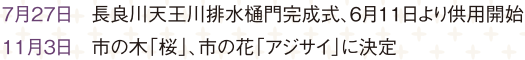
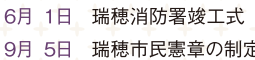
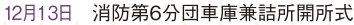
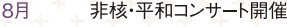
- 》P15 1 伊久良河宮跡
- 》P14 2 富有柿の母木
- 》P4 3 美江寺観音のお蚕祭り
- 》P15 4 中山道美江寺宿跡碑
- 》P4 6 美江寺観音のお蚕祭り
- 》P15 7 小簾紅園
- 》P15 9 川崎平右衛門の供養塔（興禅寺）
- 》P12 10 五六川のユキヤナギ
- 》P15 11 牛牧閘門
- 》P12 12 中川のレンギョウ
- 13 朝日大学
- 14 観音院
- 15 秋葉神社の大イチョウ
- 》P4 16 汽車まつり
- 》P16 17 十一面観世音菩薩立像（別府観音）
- 》P12 18 西蓮寺の藤九郎ギンナン
- 19 糸貫川運動公園

その他の施設

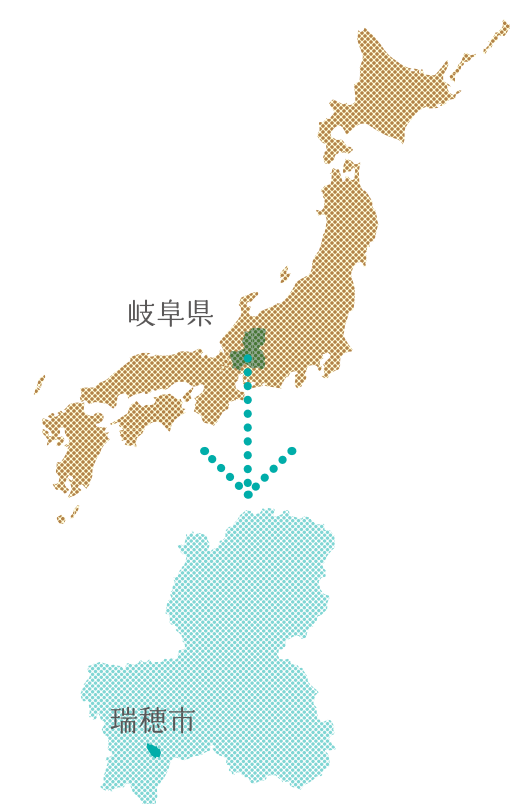
- 17 県南公民館
- 18 老人福祉センター
- 19 水防センター

瑞穂市歴史年表

HISTORICAL TIMELINE OF MIZUHO CITY

年	主なできごと	
2002 平成14年	9月25日 穂積町・巢南町合併協議会を設立し、合併を協議 12月10日 合併協議がまとまり、「瑞穂市」の名称が決まる	
2003 平成15年	4月 1日 アクアパーク別府水処理センター供用開始 5月 1日 穂積町・巢南町合併 7月22日 応募総数1,710点のうち熊本栄司さんの作品が市章に決定 7月27日 総合センターサンシャインホールにて瑞穂市誕生記念式典開催 9月12日 瑞穂市と墨俣町を結ぶ県道北方多度線の犀川大橋が開通	
2004 平成16年	4月 1日 アクアパークすなみ(水処理施設)、西部複合センター(保健センター)供用開始 生津ふれあい広場完成、面積37,265㎡ 7月10日 市図書館分館(西部複合センター2階)開館	 
2005 平成17年	7月11日 県道北方多度線の全面開通	
2006 平成18年	2月18日 消防団第5分団車庫兼詰所開所式 3月27日 古橋水源地竣工式(22日供用開始) 4月 1日 大月浄水公園完成 みずほバスターミナル完成	
2007 平成19年	5月 1日 市の人口が50,000人を突破 8月29日 学校給食センター竣工式、9月1日より供用開始 12月28日 別府保育所竣工式	
2008 平成20年	2月 1日 行政改革による行政組織の改編 4月 1日 市内全域消防業務を岐阜市へ全面委託 瑞穂消防署・瑞穂消防署巢南分署業務開始	 
2009 平成21年	3月21日 本田コミュニティセンター竣工式 7月 1日 別府保育所地域子育て支援センター業務開始 10月31日 犀川堤外地土地地区画整理事業 換地処分公告と行政界変更	 
2010 平成22年	4月 3日 穂積中学校校舎竣工式 5月31日 牛牧第2保育所増築完成	 
2011 平成23年	3月25日 水防センター完成 4月 3日 消防団第1分団詰所開所式	 
2012 平成24年	4月 1日 まちづくり基本条例施行 4月 5日 花塚排水機場竣工式 五六ふれあい橋竣工式 4月21日 さい川さくら公園開園式 5月 5日 10周年記念事業 NHKのど自慢開催	  

年	主なできごと	
2013 平成25年	1月31日 東京都西多摩郡瑞穂町と防災協定を締結 3月25日 生津ふれあい広場改修、生津スポーツ広場完成 4月12日 別府排水機場竣工式	5月 1日 瑞穂市市制施行10年 5月 6日 瑞穂市合併10周年記念式典・市民の歌制定 9月30日 穂積北中学校大規模改修I期
2014 平成26年	5月 1日 2代みずほバス誕生 8月 1日 平成宝江川橋開通 8月25日 穂積北中学校大規模改修II期	9月 1日 アレルギー対応給食開始 10月 1日 瑞穂市防災メールサービス開始
2015 平成27年	1月 5日 市内北西部が準都市計画区域に指定 3月23日 生津小学校駐車場整備 4月 1日 野田公園、野口公園開園 4月21日 岐阜都市計画下水道の変更 5月16日 瑞穂市少年少女消防クラブ設立 6月16日 市内中学生によるネットプロミス採択	8月31日 穂積中学校技術棟改修 10月15日 本田第2保育所駐車場整備 10月26日 まち・ひと・しごと創生総合戦略策定 12月7日 中小学校、南小学校、本田小学校、穂積小学校、生津小学校 空調機器整備 生津小学校駐車場拡張
2016 平成28年	3月10日 牛牧小学校大規模改修I期(空調機器整備含む) 3月18日 瑞穂市第2次総合計画を策定 3月19日 瑞穂市PR動画公開(瑞穂市ふるさと創生大使 平山浩行) 3月23日 西小学校大規模改修(空調機器整備含む) 3月24日 牛牧小学校増築棟竣工式 3月31日 ほづみ幼稚園駐車場整備	4月 1日 井場公園開園 消防団第7分団設立 10月 1日 乳幼児等医療費助成対象者を高校生世代に拡大 消防団女性消防班設置 11月7日 牛牧小学校大規模改修II期 12月7日 穂積中学校、穂積北中学校、巢南中学校 空調機器整備
2017 平成29年	3月16日 別府水源地No.2配水池給水開始 3月18日、19日 さい川さくら公園で水と緑のマルシェ開催 3月29日 瑞穂市JR穂積駅圏域拠点化構想策定 4月 2日 消防団第7分団車庫兼詰所開所式 11月2日 岐阜連携都市圏連携協約締結	11月 本田小学校大規模改修 11月 南小学校大規模改修 12月 (公財)日本消防協会から防災活動車の交付 12月 ゴミ袋デザインリニューアル 12月14日 マンホールカード配布1,500枚達成
2018 平成30年	1月 30日 給食センターが「東海農政局長賞」受賞(3年連続) 3月 22日 公私連携保育所型認定こども園の設置に関する協定締結式 4月 1日 みずほバス新路線運行開始 4月30日 ~5月6日 市制15周年記念 みずほスマイルウィーク開催 5月 瑞穂市PR動画公開(アメリカン編、マンボ編)	7月 タウンミーティングを開催 8月 4日 瑞穂市図書館視聴覚コーナー刷新 10月10日 野田あゆみ橋完成 10月14日 図書館20周年記念 図書館落語会
2019 平成31年 令和元年	3月31日 瑞穂市消防職員、岐阜市消防職員へ 5月 1日 洪水ハザードマップを更新、瑞穂市防災読本を配布 5月26日 水と緑のマルシェOUTDOOR開催	10月1日 幼稚園、保育所などの利用料が無償化 11月6日 市の人口が55,000人を突破
2020 令和2年	4月 1日 瑞穂市公式Facebookを開始 7月14日 非核・平和都市宣言10周年記念、被爆アオギリ2世を植樹	8月 1日 市営JR穂積駅南駐車場の利用開始 10月1日 プレミアム付商品券かきりん振興券販売
2021 令和3年	2月 5日 オリンピック聖火を総合センターに展示 3月31日 第2次総合計画後期基本計画を策定 6月20日 街の住みこころランキングで県内2位を獲得	8月27日 SDGs推進本部が発足 9月11日 昭和51年水害から45年 11月28日 瑞穂市男女共同参画推進条例施行10周年記念講演会を実施
2022 令和4年	3月20日 SDGsオリジナルロゴマークが決定 4月 1日 市役所組織内に係制を導入 4月 3日  サンコーバレットパーク(中山道大月多目的広場)が開園 7月21日 第1回新庁舎建設検討委員会を開催	10月1日 まちづくり基本条例を改正 10月15日 清流長良川100kmウォークを開催 10月29日 瑞穂市消防団が全国消防操法大会で5位入賞
2023 令和5年	1月30日 柳一色あゆみ橋完成 2月13日 穂積中学校グラウンドを拡張	3月17日 瑞穂市人権尊重都市宣言 5月 1日 瑞穂市市制施行20年



東経 136度69分06秒 標高 7.47 m
北緯 35度39分14秒 面積 28.19 km²
気候 15.8℃

位置

本市は、県都岐阜市と大垣市に隣接する濃尾平野の北西に位置しています。

中京圏の中心名古屋駅から約25分と近く、東京や大阪へも日帰りで往復できる交通至便の位置にあります。

地勢

本市は、東に清流長良川、西に揖斐川の両河川に加え、市内に犀川など合わせて18本の一級河川が流れる、水に恵まれた自然の豊かな地域です。

地形はおおむね平坦で、古来より豊富な水を生かした都市として発展してきました。

現在では、JR東海道本線や国道21号によって、利便性の良い、拠点的な都市として多くの可能性を秘めています。

※緯度、経度、標高は国土地理院ホームページより



瑞穂市長 森 和之

令和5年5月1日に、市制施行から20年を迎えました。市内では新しいまちづくりを進めており、にぎわいと活気が生まれています。その一方で、水辺をはじめとする豊かな自然環境も多く残り、バランスのとれた都市との調和がこのまちの魅力のひとつです。また、JR東海道本線や国道21号、県道が通り、交通の利便性が高いことから、若い世代の移住先として選ばれ、今もなお人口増加を続ける住みやすいまちです。

これらの魅力ある地域資源を生かして、子どもから高齢者まで誰もが健やかで幸せに暮らせる「健幸都市みずほ」を目指したまちづくりを推進しています。住む人が誇りと愛着を持ち、訪れる人が憧れを抱けるよう、持続可能な未来を見据えた取り組みを行ってまいります。

本要覧で本市への理解を深め、より一層のご支援を賜れば幸いです。

市章



瑞穂市の「M」と「稲穂」を、緑豊かな自然と若々しさの象徴であるグリーンを基調に図案化し、徐々に深い色へと円熟を増していく2本の「稲穂」は、穂積町と巣南町の合併を意味し、「快適で住みよい、活力を生み出す創造都市」として活躍、発展する未来が描かれています。

市の木



桜

市の花



アジサイ

個性豊かで和やかな人間性の瑞穂市民にふさわしく、魅力あるまちになれるように、市民に親しまれ馴染み深い「市の木」として桜、「市の花」としてアジサイが選ばれました。

市のマスコットキャラクター



かきりん

合併10周年を記念してリニューアルされた市のマスコットキャラクター「かきりん」。柿をモチーフとして、未来を見つめる笑顔いっぱいの子どものイメージしたキャラクターです。

